

**令和5年度
学校評価
(自己点検・自己評価)**

報告書

**学校法人 健生学園
東日本医療専門学校**

1. 教育目標

次に掲げる事を本学の教育目標とし、次代を担う柔道整復師・鍼灸師の育成に精励する所存である。

- ・伝統医療を継承しつつ現代の時代のニーズにあった人材育成を目指す。
- ・幅広いフィールドで即戦力となる人材の育成を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1) 生徒募集活動の充実

- ・柔整スポーツ科学科
- ・鍼灸スポーツ科学科
- ・実践研究科(令和 5, 6 年度募集休止)
- ・保育園園児(今年度卒園児 3 名)

2) 国家試験対策の強化

- ・国家試験対策授業の実施、模擬試験の実施
- ・模擬認定実技審査の実施
- ・個別指導の強化(時代にあった取り組み)

3) 施設・設備

- ・修繕工事
 - 独立看板修繕(看板アーム交換他)
 - 学生及び保育園駐車場のロープ交換
 - 学生用トイレ修繕工事
 - 職員玄関修繕工事
 - エアコン室外機 基板交換(201)
- ・保育園 園庭人工芝へ
- ・保育園 菜園、花壇の充実
- ・オンライン会議(環境整備)

3. 評価項目の達成および取組状況

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	
学校における職業教育の特色は何か	4	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・未来構想などが学生や保護者に周知されているか	3	
各学科の教育目標・育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	

【課題】

- ・ホームページやパンフレットの内容を精査して修正を加えた。育成人材像や本校独自の特色等の浸透には継続した広報活動が必要と考えられる。
- ・昨今の社会問題(少子高齢化、医療費高騰など)や企業のニーズに鑑みて、定期的に教育内容の見直しを検討していく必要がある。
- ・実践研究科については募集停止の状態となっており、今後の生徒募集の有無など慎重に議論していく必要がある。
- ・SNSや動画配信サービスを運用しているが効果的な配信となるように工夫が必要である。

【今後の改善方策】

- ・学校関係者評価報告書や協力企業からの提言を参考にし、SNS等の活用方法や動画配信サービスなどの活用方法を検証し、より効果的な運用方法を模索する。
- ・教育目標や育成人材像については、企業等と連携を取り、社会や企業が求めるニーズとの適合性を適宜検討していく。

【特記事項】

- ・SNSの更新やホームページ内へのコラム投稿を定期的に行い、教育方針や学校の特色などが閲覧者に伝わるように力を入れた。
- ・オープンキャンパスにおいて、昨年度の反省点を踏まえ、より本校の特色が伝わるように内容の見直しを行った。
- ・令和5年度から新たに介護職員初任者研修を開催し、在学中に新たに取得できる資格を増やした。(受講者数が最低開催人数を下回ったため中止となった)
- ・スポーツトレーナー関連資格の取得支援のため各種対策講座を実施した。
 - 1)日本トレーニング指導者(JATI)認定試験対策講座
 - 2)日本スポーツリハビリテーション学会認定トレーナー講習会

3)キネシオテーピング講座

4)日本赤十字社 救急法基礎講習

2. 学校運営

評価項目	4：適切 2：やや不適切	3：ほぼ適切 1：不適切
目的に沿った運営方針が策定されているか		3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか		4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		4
人事や給与に関する規定は整備されているか		3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		4
教育活動に等に関する情報公開が適切になされているか		4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか		4

【課題】

- ・全教職員による学校運営への参画意識の向上。
- ・責任の明確化や適正な業務分担。
- ・私立学校法改正に向けた準備。
- ・実践研究科運営。
- ・企業主導型保育園に特化した運営支援サービス利用を検討。
- ・保育士の確保。

【今後の改善方策】

- ・事業計画の策定について、十分な理解と準備が必要である。
- ・私立学校法改正(令和7年4月)の内容を理解し、令和6年度寄附行為変更の為の準備をする。
- ・地域方参加のスワップミート開催。

【特記事項】

- ・在学生を対象とした特別授業(各企業より講師を招き)を多く開催した。
- ・オンライン会議により、理事会・評議員会がより充実したものになった。
- ・保育園 食育の充実(菜園)、英語力の向上(英検受験)、体力づくり(講師派遣の体操教室)を

実施した。

・企業主導型保育園(ダヴィンチ英智保育園)定員数 19 名、内卒園予定園児 3名、転園予定園児 0名、待機園児 8名。

3. 教育活動

評価項目	4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップや実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務、兼務含む)を確保するなどのマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識や技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

【課題】

- ・大学、医療機関、接骨院等で活躍している先生を講師に招き授業を行っているが、さらなる職業教育の充実を検討しなければならない。
- ・各種セミナー等に参加して先端的知識や技能の習得に努めてはいるが、体系的な取組ができるようにしなければならない。
- ・柔道整復スポーツ科学科では 2023 年度入学生から新カリキュラムを導入したが、引き続き業界のニーズや育成人材像に沿った教育ができているか、教育目標に対する到達度等を検証する

必要がある。

【 今後の改善方策 】

- ・さらなる職業教育の充実のために、インターンシップの拡充や関連分野の企業等と連携した特別講義の実施などの導入に向けた準備を進めていきたい。
- ・教員の指導力の向上や先端的技能の修得のための研修等の充実を図る。

【 特記事項 】

- ・鍼灸スポーツ科学科では卒業認定実技試験を実施し、一定水準の実技能力を修得しているかを評価している。
- ・柔道整復スポーツ科学科では認定実技審査を実施し、外部審査員による外部評価を取り入れている。
- ・柔道整復スポーツ科学科ではカリキュラムを精査し、令和 5 年度入学生から新カリキュラムを用いて活動していく。
- ・各種競技会等においてトレーナー活動を行った。
 - 1) 高校柔道競技 大会救護として派遣
 - 2) 巨理少年野球合宿 トレーナーとして派遣
- ・各企業や業界団体と連携をとり、以下のセミナーを開催した。
 - 1) 県内、県外提携企業 様 — 就職支援特別講話(12 回)
 - 2) 株式会社セイリン 様 — 鍼の製造工程とハリ低周波治療器に関するセミナー など

4. 学修成果

評価項目	4 : 適切	3 : ほぼ適切
	2 : やや不適切	1 : 不適切
就職率の向上が図られているか		3
資格取得率の向上が図られているか		4
退学率の低減が図られているか		3
卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		3

【 課題 】

- ・学年別に学習指導計画を作成し、放課後の補習等を行い学力向上に取り組んでいるが、それでも勉強習慣の改善を果たせず、成績不良による中途退学が若干名存在している。
- ・卒業後の活躍や活動状況を詳細に把握するために、さらなる交流の充実が必要である。
- ・国家資格の取得がその後の就職状況に影響することから、就職活動に積極的でない学生が一部存在するため就職率への影響が懸念される。

【 今後の改善方策 】

- ・中途退学は学習意欲の低下による成績不良によって発生しやすいため、引き続き学習指導計画の見直しや指導方法の検討を行う必要がある。またインターシップ等の学習意欲が高まるようなイベントの企画を検討する。
- ・就職率の向上のため、職場見学やインターンシップの励行、企業説明会を行い、就職活動への理解、円滑な就職活動のサポートを実践する。
- ・担任による個人面談によって学校生活上の悩みや不安を早期に把握する。
- ・学友会との連携や、SNS等のツールを利用して、これまで以上に卒業生との交流の場を増やすことを検討する。
- ・卒業生の就業状況を把握するためのアンケート実施を検討する

【 特記事項 】

- ・3年次に就職支援のためのセミナーや企業説明会を開催している。
- ・学習支援として、放課後の勉強会や国家試験対策講座の実施、課題の配布、個別指導等を行っている。
- ・クラス担任との2者面談を年に数回実施している。
- ・JATI 対策講座を開催して資格取得の支援を図った。(今年度は13名中9名が認定試験に合格)
- ・卒業生向けの公式 LINE アカウントを開設し、試験運用を開始している。

5. 学生支援

評価項目	4 : 適切	3 : ほぼ適切
	2 : やや不適切	1 : 不適切
進路や就職に関する支援体制は整備されているか	4	
学生相談に関する体制は整備されているか	3	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	
学生の生活環境への支援は行われているか	3	
保護者と適切に連携しているか	4	
卒業生への支援体制はあるか	3	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	
高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取組が行われているか	3	

【 課 題 】

- ・在校生に於いては、生活環境面(学習、就職支援、学費納付等以外)の相談窓口が設置されておらず、また、それに対応する専門的な人材がない。
- ・進路や就職に関しては就職課が対応しており、学生ばかりでなく、卒業生の転職相談にも随時対応できるよう、企業との繋がりを強く持つ必要がある。

【 今後の改善方策 】

- ・卒業生支援の一環として、就職支援のために治療家ネットワークとの連携による企業の紹介・斡旋を実施し、国家試験を再チャレンジする人に対しても求人情報の提供や面接指導・履歴書等の添削指導を行っている旨、案内する。

【 特記事項 】

- ・昨今の経済状況を反映し、授業料納付に関する相談を常に受けている。
- ・年1回の学生健康診断の実施、インフルエンザ等の感染症予防の啓発、手指消毒液を昇降口や各教室入口に設置、サーマルカメラによる検温を継続して行っている。
- ・就職支援では年1回の就職ガイダンス、合同・個別の企業説明会を行っており、また職員室前のロビーに企業様から頂いた求人票を常に閲覧でき履歴書添削の個別指導を行っている。
- ・国家試験不合格者に対しては聴講生制度や国家試験対策セミナーへの参加、教員アドバイスのもと学習計画の設定などを行っている。また自習室の開放も行っている。
- ・学生に対して、専門業者によるマネーリテラシーの講義を実施した。

6. 教育環境

評 価 項 目	4 : 適切	3 : ほぼ適切
	2 : やや不適切	1 : 不適切
施設や設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	
学内外の実習施設・インターンシップ・海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
防災に対する整備はされているか	4	

【 課 題 】

- ・臨床実習施設における職業教育の充実のために、積極的な広報活動や協力企業の募集に力を入れる必要がある。
- ・スポーツトレーナーに関連したインターンシップ、セミナー等の拡充に力を入れる必要がある。
- ・臨床実習施設においてオンライン資格確認の導入運用に向けた準備が必要となる。

【 今後の改善方策 】

- ・実習施設の利用者数を増やすために、SNS の活用、広告等による広報活動を行う。
- ・外部臨床実習施設を増やすために指導者講習会の開催を検討する。
- ・令和 6 年秋の義務化にむけたオンライン資格確認の機器設置、取扱い等の研修について準備を進めなければならない

【 特記事項 】

- ・プロスポーツ研修、ゲレンデ接骨院臨床見学実習などのインターンシップ、各セミナー (P.5 参照) を実施した。
- ・高校柔道競技の大会に救護派遣を行った。
- ・少年野球合宿にトレーナー派遣を行った。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	4 : 適切	3 : ほぼ適切
	2 : やや不適切	1 : 不適切
学生募集活動は適正に行われているか		3
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか		3
学納金は妥当なものとなっているか		4

【 課題 】

- ・入学後のミスマッチが若干見受けられた。
- ・これまでは主に競合校 (専門学校) との比較であったが、今期より大学との比較が増加したため取得学位に優る訴求を行う必要がある。
- ・広告費拡充によって HP 流入、SNS 閲覧およびフォロー数は向上維持できているが、その影響を来校に繋げきれていないため、来校率向上 (歩留まり率) を図るべき。

【 今後の改善方策 】

- ・入学後のミスマッチを防ぐため、体験入学会やガイダンスにおいて仕事や資格についてしっかりと説明し、試験や学習の難易度も加えて明確に伝える。
また、卒業生や在校生のモデルケースを基に目標 (ゴール) だけでなく、その過程 (プロセス) もサポート体制を加えて説明し、他校との差別化を図る。
- ・勉学への意欲低下防止と更なる向上を図るため、様々な実践現場での研修機会を設ける。
これにより将来性をイメージし、目標 (未来像) の明確化に繋げる。
- ・来校率向上のため、広告と HP をスポーツ主軸とした内容に統一し相互性を高める。
これにより Google の優良性も高め上位掲載と来校促進に努める。

【 特記事項 】

8. 財務

評 価 項 目	4 : 適切	3 : ほぼ適切
	2 : やや不適切	1 : 不適切
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	
予算や収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
財務について会計監査が適正に行われているか	4	
財務情報公開の体制整備はできているか	4	

【 課 題 】

- ・経営基盤は安定の域にあるものの、中長期にむけた計画を立てる。
- ・実践研究科の魅力あるプランの設定。
- ・時代に沿った学生募集・園児募集。

【 今後の改善方策 】

- ・機器備品等の安全点検。
- ・学校のブランディング化。
- ・魅力ある学校づくり。
- ・学生納入金の変更。

【 特記事項 】

- ・毎年 5 月に監事や公認会計士による会計監査を行っている。
- ・毎年 5 月に私学・公益法人課 学事班の学校基本調査を受けている。
- ・受配者指定寄付金を企業より受け、教育研究費に使用した。
- ・企業主導型保育園(ダヴィンチ英智保育園)
 - 8月「児童育成協会」企業主導型保育施設に対する立ち入り調査。
 - 10月「仙台市」認可外保育施設立ち入り調査。

9. 法令等の遵守

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	
個人情報に関し、その保護のために対策が取られているか	3	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
自己評価結果を公開しているか	4	

【課題】

- ・法令等適切に遵守し、ガバナンスの確保に努めている。また、指導を受けた場合には、迅速に必要な改善・報告を行っている。
- ・IT化が進むなか、情報漏洩の管理対策をより厳重にする。

【今後の改善方策】

- ・継続して自己点検、自己評価を実施し、更に学校関係者評価委員会で意見を仰ぎ、問題点の改善に取り組んでいく。

【特記事項】

- ・評価項目において「やや不適切」「不適切」の評価意見があった場合は、問題点を明確にした上で、その改善を図る。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3	
地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託を積極的に実施しているか	3	

【課題】

- ・地域・社会に開かれた学校として積極的に情報公開、施設貸出しなどを実施する。また、教育成果を地域や社会に還元し交流を深めていく。
- ・ボランティア活動に参加する学生を増やすため、推奨活動の継続が必要である。

【 今後の改善方策 】

- ・学生に対する各施設や団体等からのボランティア協力依頼を積極的に受入れ、掲示等で周知・奨励を図る。
- ・感染対策を講じながら、積極的に地域にアピールし、社会貢献活動・地域貢献活動を行う。

【 特記事項 】

- ・附属施術所(はり・きゅう・柔道整復)にて一般外来患者を受け入れている。(令和5年度は休止)
- ・派遣依頼を受けて各種スポーツ大会への救護係の派遣を行っている。
- ・校内に AED を設置し、日本救急医療財団 全国 AED マップへ登録しており、医療系教育機関として地域住民の安全を支援している。